

## 核融合科学研究所創立30周年記念事業「核融合エネルギー研究推進基金」ご支援のお願い

核融合科学研究所は、2019年5月29日をもちまして、創立30周年（土岐市移転22周年）を迎えます。このような節目に当たり、研究所の今後の一層の発展を祈念し、「核融合科学研究所創立30周年記念事業」を実施することとしました。記念事業では、人材育成事業及びアウトリーチ活動並びに記念式典等を実施していきたいと考えております。

このため、記念事業の準備及び運営等に充てるための基金として、新たに「核融合エネルギー研究推進基金」を創設いたしました。

皆様におかれましては、本研究所が創立30周年を機に更に飛躍していくためにも、是非ともこの趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「核融合エネルギー研究推進基金」へのご寄附は  
ホームページ又は下記URLからお願いします

URL : <http://www.nifs.ac.jp/30th/>



## 市民学術講演会を開催しました

核融合科学研究所は、7月21日にパロー文化ホール（岐阜県多治見市）において、「Building the Future」をテーマに市民学術講演会を開催し、多治見市、土岐市、瑞浪市を中心に約230名の方にご参加いただきました。

前半は、徳留 真一郎 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授が、「イプシロンロケットの開発と宇宙輸送システムの将来」と題して、宇宙科学研究所のロケット開発史や、今まさに開発と改良が進められているイプシロンロケットなどについて解説しました。

後半は、竹入 康彦 核融合科学研究所長が、「大型ヘリカル装置LHD 20年の軌跡」と題して、将来の核融合発電を目指した研究の進展や、LHDの建設から20年にわたって行われてきた実験の成果などについて紹介しました。



市民学術講演会の様子

## 市民説明会を開催しました

核融合科学研究所は、土岐市（6月25日～7月12日）、多治見市（7月17日～8月1日）及び瑞浪市（8月7日）において、「核融合研究の進展と大型ヘリカル装置（LHD）の研究成果」について、市民説明会を開催しました。

説明会には土岐市7会場で112名、多治見市15会場で105名、瑞浪市1会場で18名の方にご参加をいただき、LHDを用いたプラズマ研究の内容と、2017年3月から開始した重水素ガスを用いた実験（重水素実験）第1年次の実施結果、本年10月上旬から開始予定の重水素実験第2年次の準備状況及び安全管理や情報公開の体制等について、研究所から説明を行いました。

説明会では安全性に関する質問のほか、「核融合発電を早期に実現するにはどのようなことが必要ですか？」など、核融合研究の今後について期待を寄せる質問もいただきました。



下石公民館で説明を行う竹入所長



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS

No.243

2018年8,9月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6  
TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601  
URL : <http://www.nifs.ac.jp/>  
E-mail : [nifs-news@nifs.ac.jp](mailto:nifs-news@nifs.ac.jp)

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される  
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F  
TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。